

主張する。乍併同國の大部分の労働組合はクロード・ショップの原則を支持し、好機會さへあつたならば直に之を實行せしめんとしてゐるもので、唯大部分の労働組合は未だ其の基礎が此點に關し雇主に對抗するには、強大でないため隱忍して機會を視つてゐるのである。之は無理のない事で、米國の様な極度に資本主義が暴戻を逞しくしてゐる國ではさもあるべき事で資本家は米國の自由だとか正義だとか云ふ美名に隠れて彼等に有利な現状維持を宣傳するから労働組合がクロード・ショップを實行する事は甚しく困難である。

(三) クロード・ショップの實行的手段

労働組合が資本家をしてクロード・ショップを公然實行せしむる迄に至る徑路は決して一概ではなく、廠機應變の措置を採つて居る。先普通の方法は、工場内の労働組合的方法であつて工場内の非労働組合員を漸次組合に加入することを勸告、懲罰して工場内の大部分は労働組合員となれば、其の大多數的の壓力を以て残りの労働者を組合員たらしめ、遂に工場内の労働者が組合加入者になれば、換言すれば該工場が完全に組合化せられ、其の勢を以て新たに使用せらるゝ労働者が組合員でない場合は其れを直ちに組合員たらしめ其のものが其れを肯せない時にはあらゆる方法を以て其のものゝ労働を不愉快ならしめて、工場外に驅逐する事につとめる。其れから更に一步進めて、雇主に對して公然に労働組合を認容せん事を要求し、非労働組合員の解雇を迫る。之れが雇主の容れる處となれば